

「飼料増産シンポジウム」 ～国産濃厚飼料の可能性を探る～概要報告

【シンポジウムの概要】

○日時：平成29年4月13日(木) 14:00～17:15

○場所：農林水産省7F 講堂

○主催：農林水産省、一般社団法人日本草地畜産種子協会

○主なプログラム：

・基調講演（農業・食品産業技術総合研究機構 菅野 勉 氏）

・事例発表

①有限会社ジェネシス美瑛 浦 敏男 氏

「イアコーン生産による飼料自給率の向上」

②北海道子実コーン生産組合 柳原 孝二 氏

「水田における子実とうもろこし生産」

③真室川農業協同組合 丹 康之 氏

「粳米サイレージ（稲WSC）の製造・販売について」

④農事組合法人 花房牧場 綾部 寿雄 氏

「食品残さなどの地域資源を活用し地域に根ざした肉用牛経営」

○参集範囲：都道府県、市町村、農協等関係機関、畜産農家等

○参加人数：230名程度

基調講演の様子



事例発表の様子



農水省大野畜産部長挨拶



200名を超える参加者



「飼料増産運動」の開始から3年目となる中、利用拡大の可能性が見え始めた国産濃厚飼料の増産をテーマにシンポジウムを開催。